

# 来週の『売り物』記事はこれ



2016年4月22日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 鉄と原子力 企業城下町の光と影

24日(日)



日本の近代化を支えた鉄の町・岩手県釜石市と原発の町・福島県富岡町。製鉄所＝写真＝の撤退と東日本大震災による原発事故で町は衰退しました。釜石公害闘争の先頭に立った元教師の中川淳さん(82)と、住民避難後も富岡に残り、置き去りにされた牛を世話する元原発建設作業員、松村直登さん(56)を



訪ね、企業城下町の光と影を考えました。戦後、釜石の復興は朝鮮戦争特需の追い風も受けて軌道に乗りましたが、その影で海は汚染されて緑色の牡蠣が現れます。また、2020年東京五輪は「復興五輪」を掲げているものの、原子炉解体は目処が立たず、復興も道半ばなのが現実。「世の中を劇的に変える技術は恩恵も大きいですが、暗転した時の傷痕も大きい。何事も性急に求めすぎてはいけない」と中川さんは言います。(※熊本地震で掲載が1週間延期されました。)

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

## 世界を揺るがした「税逃れ」暴露

### パナマ文書が日本を直撃する？

夕刊2面特集ワイド 25日(月)



中米パナマの法律事務所から流出した「パナマ文書」が、世界各国の政治家やセレブたちを震え上がらせています。彼らが「タックスヘイブン(租税回避地)」にためこんだ“隠し財産”が暴かれてしまったからです。近く文書にある法人名や個人名も公開されそうですが、大企業や富裕層の「課税逃れ」のツケを払うのは、まじめに納税している国民です。日本の実態はどうか、社会を揺るがすほどの問題に発展するのか——取材しました。

## 「家の害虫対策」

くらしナビA面 26日(火)

気温が高くなると、虫の活動も活発になります。人体や住宅に悪影響を及ぼす害虫も例外ではありません。被害を最小限に防ぐには害虫が生息しやすい環境を作らないことが大切です。ゴキブリ、ダニ、蚊、シロアリといった種類別に、家庭で簡単にできる対策と、専門業者のサービスを紹介します。



## 「備える 生きる 大地震」

くらしナビA面 28日(木)



大地震はいつ、どこで起きるかわかりません。地震発生直後は電話がつながりにくくなり、不安が募ります。通信が遮断された中で、親族・知人に無事を知らせたり、安否を確認したりする方法を紹介し、通信各社の非常時サービスや災害用伝言ダイヤルの利用法、不確実情報・デマ情報に対して注意すべき点も案内します。

## 貴乃花親方との激しい跡目争いを制した 八角理事長に聞く

オピニオン面 [論点] 28日(木)

日本相撲協会の理事長に再選された八角理事長。昨年秋の北の湖前理事長の急逝後、後継者ポストをめぐる貴乃花親方との激しい跡目争いは週刊誌、ワイドショーの格好の話題になりました。理事長選を制した直後「江戸時代から続く文化を後輩へつなぐ責任がある」と語っていた八角理事長。協会内のシコリは解消されたのでしょうか。聞きにくいことも直撃しました。



## 日本国憲法公布 70 年

### 緊急事態条項は必要なのか

オピニオン面 [論点] 29日(金)



日本国憲法が公布されて今年で70年を迎えるなか、憲法改正は現実味を帯びています。今、注目されているのが緊急時の政府の権限を定める「緊急事態条項」を条文として盛り込もうとする動きです。災害大国ゆえに「当然だ」という声がある一方で、政府に権限が集中する危険性を指摘する慎重論も野党から巻き起こっています。自民、民進両党の幹部らに聞きました。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。